



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
11/8 (月)	+ 900	+ 2,900	+ 3,800	国庫短期証券 発行・償還(3M)	CP等買入 ▲ 100 補完供給 ▲ 800		日：日銀金融政策決定会合における主な意見 (10月27・28日分) 米：FRB議長 会議冒頭で挨拶
11/9 (火)	ト	+ 2,000	+ 2,000				米：PPI(10月) FRB議長 会議冒頭で挨拶
11/10 (水)	△1,000	△14,000	△15,000	国債発行(30年) 国庫短期証券 発行・償還(6M)	共通担保(全) ▲2,400	社債買入 + 1,300	米：CPI(10月) 新規失業保険申請件数(10月6日終了週)
11/11 (木)	△1,000	+ 2,000	+ 1,000				日：国内企業物価指数(10月)
11/12 (金)	△1,000	+ 3,000	+ 2,000				米：求人件数(9月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初539兆3,300億円から始まった。国庫短期証券(3M)と国債(2Y,10Y)の発行により、2日時点で同残高は535兆400億円まで減少した。4日には税保険場揚げがあったが、同日の地方交付税交付金や国債買入オペにより同残高は若干増加し、537兆5400億円を越えた。

無担保コールON物加重平均金利は、週初前営業日対比△0.002%の△0.029%から始まった。積み期後半に入りビットサイドで調達量を制限する先も見られ、同金利は緩やかに下降を続けた。週末3日積みとなる5日も軟調な地合いが継続し、同金利は△0.036%で越えた。ターム物については、1W~2Wを中心に△0.020%~△0.005%の水準で出合いが見られた。

来週の主な予定は、国内で8日に日銀金融政策決定会合における主な意見(10月27・28日分)の公表、11日に国内企業物価指数(10月)の公表などがあり、海外では9日に米PPI(10月)の公表、10日に米CPI(10月)の公表などがある。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.080 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

### <レポ>

足許GC取引は、週を通して△0.100%~△0.090%のレンジ内で出合い、大きな動きはなかった。国庫短期証券3Mが発行された5日午後取引で△0.090%近辺にやや上昇して取引され越えた。SC取引では2年410~429回債、5年137~149回債、10年333~364回債、20年163~178回債、30年69~72回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.070 ~ 0.000

### <CP>

今週の入札発行総額は約3,000億円で、週間償還額(約1,500億円)と上回った。発行市場は、機械、電気業等にて大型案件が実施されたものの、案件自体は少なく、落ち着いたマーケットとなった。発行残高は先週末の24兆2,945億円から、4日時点で24兆5,892億円に増加した。発行レートは、引き続き、希少銘柄等においては深いマイナスレートでの出合いも見られたが、大型発行案件については浅いマイナスレートでの出合いとなった。

来週の週間償還額は、約7,500億円程度となっている。発行市場は、5・10日発行が予定されるため、取引は活況が見込まれる。発行レートは、日銀オペ等の対象銘柄や希少銘柄等では、引き続き深いマイナスレートでの出合いを予想する。11日に、CP等買入オペが5,000億円で実施される予定となっている。

### <TDB>

11月5日の3M1035回債(2022年2月14日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1172% (前回債△0.1117%)、平均落札利回り△0.1213% (前回債△0.1143%)となった。来週は11月9日に6M、11月12日に3Mの入札がある